

生活支援コーディネータを全小学校校区(7校区)に配置

資料3

これまで、コミュニティカフェの運営支援を中心として、3名の生活支援コーディネータ(地域支え合い推進員)を配置しておりましたが、小学校区単位で、地域との結びつきをより強めるため、平成29年度から、7名に増員します。今後は、生活支援コーディネータを中心として、地域の支え合い活動の担い手の育成を進めます。

※厚生労働省資料

多様な主体による生活支援サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人、協同組合等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援



- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)」の配置や協議体の設置などに対する支援

